

三鷹まちづくり総合研究所

「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化に向けた研究会」

(第1回議事録要旨)

日時：平成25年7月17日(水)午後6時～

場所：三鷹市役所第二庁舎243会議室

研究員：内田治(リーダー)、宇山正幸(サブリーダー)、高階豊彦(サブリーダー)、

大朝摂子、向井研一、土合成幸、田口智英、新藤豊、宇山陽子、後藤省二、大高俊彦
ワーキングチーム：齊藤大輔、丸山真明、伊藤恵三、春木誠市、渡邊正人、小俣大輔、出田健二

事務局：三鷹市企画経営課、三鷹市立図書館、三鷹ネットワーク大学

1. 研究員の委嘱

○研究所所長の清原慶子市長より、各研究員に委嘱状の授与が行なわれた。

2. 市長挨拶

○清原慶子市長より、第1回研究会開催にあたり、「まちづくり総合研究所」創立理念の「専門家に任せず、職員が学びながら自らの責任で政策提言をする」ということについてお話しいただき、新しい提案が出ることに期待しているとのこと挨拶をいただいた。

3. 自己紹介

4. リーダー及びサブリーダーの選出

○リーダーに三鷹市企画部調整担当部長の内田治氏が、サブリーダーには生活環境部調整担当部長の宇山正幸氏と教育部生涯学習担当部長の高階豊彦氏が選出された。

5. リーダー挨拶

○内田治リーダーより、「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化の検討」というテーマを持つこの研究会の活動が、さまざまな分野の行政サービスに活用できるような展開に繋がるように思いを込めて取り組みたいというお話しがあった。

6. 内容

(1) 市立小・中学校 Ruby 図書館システムの検証について

(2) 今後の進め方、意見交換

○Ruby 導入に関する現状と課題等を述べ、第2回以降の研究会で検討していく方針を固めた。